

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況	
1) 学生の確保の見通し	
(1) 定員充足の見込み	2
(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	4
(3) 学生納付金の設定の考え方	8
2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	9
(1) 本学看護学部生に対する取り組み	9
(2) 地元看護職に対する取り組み	9
(3) 地元の看護専門学校教員への取り組み	10
2. 人材需要の動向等社会の要請	
1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)	10
(1)【本研究科の教育研究上の目的】	10
(2) 本研究科が育成しようとする人材像	10
2) 上記が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な根拠	11
(1) 地域の保健医療の現状からの要請	11
(2) 地域の看護部長及び管理責任者からの本学研究科への期待や要望	11
(3) 一宮市からの要望	11
(4) 一宮市医師会からの要望	11
(5) 本研究科修了予定者の採用意向について	12

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

1) 学生の確保の見通し

(1) 定員充足の見込み

2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿として、「知のプロフェッショナル」の育成を大学院が中心的に担う必要があるとの提言がなされている。しかし、現状では諸外国に比べ修士・博士学位取得者の割合が低いにもかかわらず、入学定員の未充足が常態化していることが指摘されている(中央教育審議会大学分科会、2019)。我が国の私立大学大学院全体の修士課程及び博士前期課程の過去5年間(2017-2021年)の入学定員充足率をみると、ほぼ75%の充足率で推移している(資料1)。

同じく私立大学大学院看護学研究科の修士課程及び博士前期課程の入学定員充足率をみると、2017年度は78.2%、2018年度は76.9%であり、私立大学大学院の平均充足率と同様の数値を示している。しかし、直近の3年間(2019-2021年)は66.6%から65.5%と推移し、私立大学大学院全体の充足率を下回っている(資料1)。

同様に、愛知県内にある7校の私立大学大学院看護系研究科(修士課程及び博士前期課程)・看護学専攻の入学定員充足率(2021年)では、充足率を満たしているのは1校のみであり、高度実践看護師教育課程を有する大学院では、86.7%の入学定員充足率であるが、他の5校の平均充足率は33.3%を示している。この充足率は、同年の私立大学大学院看護学研究科の充足率65.5%を下回る結果となっている(資料2)。

上記の入学定員充足率の推移や愛知県の私立大学大学院看護系研究科6校の入学定員未充足の現状を鑑みると、本学において設置構想中の大学院の入学定員充足に向けた対応や取り組みが大きな課題である。その対応の一環として、設置構想中の大学院の入学定員を充足可能と考えられる6名に設定している。この6名の設定は、教育研究体制や社会的ニーズ、教育の質保証を総合的に勘案し決定した。

入学定員を6名とした理由は、本研究科の有する教育研究分野が2分野6領域であり、地域創成ケアシステム分野(看護マネジメント学領域、看護科学領域)2領域2名、地域生活創成看護分野(次世代育成看護学領域、急性・療養生活支援看護学領域、メンタルヘルス支援看護学領域、がん療養生活支援看護学領域)4領域4名を想定したためである。

本研究科では、入学者(入学定員6名)の構成を以下のように想定している。

☆ 現職看護職・看護教員(社会人学生) :5名

☆ 本学看護学部卒業生からの直接進学者:1名

直接進学者は、推薦選抜試験あるいは一般選抜試験での選考となり、受け入れ1名を想定している。直接進学者以外の5名は、現職の看護職・看護教員が見込まれ、社会人選抜試験あるいは社会人特別選抜試験での選考となり、合計6名の受け入れを想定している。

現職看護職を対象にした ①尾張西部医療圏の看護職を対象とした大学院入学に関する意識調査(2019年)の結果(表1)と、②尾張西部医療圏近隣の施設で勤務する看護職・看護教員を対象に実施した入学意向調査(2021年)結果(表2)から長期的に安定した入学定員充足の見込みがあると考えられる結果を得ている。

同時に本学学部生対象に、③入学意向調査を行った(2021年2月)(2021年9月)結果から(表3-1、3-2)より、継続的な学生確保につながる結果が得られた。

(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

①大学院への進学希望に関して、本学教員と実習病院看護部長からなる研究班により実施された調査結果の一部である(表1)(資料3)。

表1 尾張西部医療圏における看護職者の卒後・継続教育及びキャリア形成を支援するためのニーズ調査

調査名	2019年度 特別研究費 助成 「尾張西部医療圏における看護職者の卒後・継続教育及びキャリア形成を支援するためのニーズ調査」:白鳥他7名
調査期間	2019年-2020年
調査対象	尾張西部医療圏内の19病院に勤務する看護師
調査方法	郵送法による自記式質問紙調査
配布数と回答数	許諾が得られた9施設へ264部配布 158部回収(回収率:59.8%)
対象者の属性 n=155	最終看護教育歴 3年課程専門学校:106名、短期大学3年課程:23名 看護系大学:9名、看護系大学院:2名、准看護師養成校:2名 その他:13名
大学院進学希望 n=135	ぜひ進学したい:22名(16.2%)

進学希望する者(22名)のうち希望する専門看護師分野は、がん看護・老人看護:各8名、精神看護:6名、在宅看護:5名、慢性疾患看護:4名、急性・重症患者看護:3名、感染症看護・家族支援:各2名、災害看護・小児看護・母性看護:各1名、遺伝看護:0名(複数回答)の順であった。同じく論文コースとして希望する専門領域は、看護管理学:10名、成人看護学(慢性期):7名、老年看護学:5名、成人看護学(急性期)・精神看護学:各4名、在宅看護:3名、基礎看護・小児看護:各2名、母性看護・助産学:1名(複数回答)の順であった。

②本研究科への入学意向に関して、本学看護学部の実習病院や尾張西部医療圏近隣の施設の看護職・看護教員対象に調査を実施した(資料4)。

表2 尾張西部医療圏近隣における看護職の大学院入学意向調査

調査名	一宮研伸大学大学院 看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)に関する入学意向調査	
調査対象	以下に勤務する看護職・看護教員 ・近隣の300床以上の病院8か所(実習病院含む) ・近隣の看護専門学校6か所 ・訪問看護ステーション1か所 ・尾張西部医療圏内の保健所1か所、自治体1か所	
調査方法	8問からなる自記式アンケート調査、Web 回収と郵送法による	
調査期間	2021年7月-12月	
回答数	411 (Web 調査を含むため回収率は算出不能)	
受験意向	すぐに受験したい:11名(約 2.7%)	いずれ受験したい:66名(16.0%)
入学意向	すぐに受験したい者の内 入学したい者9名	いずれ受験したい者のうち 入学したい者:42人

※アンケートの実施時点では設置申請時の専門領域名が一部異なっているが、領域名のみの変更であるため、アンケートは有効である。

上記の結果より、「すぐに受験したい」かつ「入学したい」と回答した者は9名であり、入学定員6名を上回る結果である。また、入学を希望する専門領域は、2分野6領域・1教育課程すべてにわたっており、開設年度の各専門領域の定員充足が可能であると考えられる。

いずれ受験したい者のうち合格後の入学意向を示している者は42人であり、長期的にも入学定員の充足が見込める人数である。また、興味関心のある領域については、2分野6領域1教育課程全般にわたっており、すべての専門領域において入学定員の充足が見込まれる。さらに、大学院設置基準第14条特例の利用についても入学意向者51名のうち38名(74.5%)が特例利用を希望していることは、仕事を継続しながら大学院で学びたいという現任看護職の学修ニーズの高さの表れであり、長期的に学生の確保が可能であると考えられる。

③本学学部生への入学意向調査は、2020年の4年生(以下、「1期生」という。)(表3-1、資料5-1)と2021年の1年生(以下、「5期生」という。)から4年生(以下、「2期生」という。)までを調査対象として実施した(表3-2、資料5-2)。

表3-1 一宮研伸大学の学生における大学院入学意向調査

調査名	一宮研伸大学大学院 看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)入学意向に関するアンケート調査
調査対象	一宮研伸大学看護学部1期生:80名 (当時4年生:2021年3月卒業)
調査方法	7問からなる自記式アンケート調査、回収箱での収集
調査期間	2021年2月
回答数	68名(回収率:85%)
受験意向	受験する:8名(11.8%) 働いてから考える:50名(73.5%) 受験したいと思わない:10名(14.7%)
受験する者のうち入学意向	入学したい者:5名

※アンケートの実施時点では設置申請時の領域名と異なっているが、領域名のみの変更であるため、アンケートは有効である。

この質問紙においては、“受験する”という選択肢は、本研究科の開設に当たり、受験できる年(2022年)になると、いずれ受験するものとして回答していることをいう。本学看護学部1期生(卒業生)を対象とした調査結果では、受験すると回答した8名のうち5名は合格後の入学意向を示しており、本学研究科の開設年度及び長期的な定員充足につながる結果である。また、1期生のうち50名(73.5%)が「働いてから考える」と回答していることから、臨床経験を経て具体的な研究課題を明確にして大学院進学を検討するものと考えられる。

この1期生の進路状況の内訳を見ると、66名(82.5%)の卒業生が愛知県内に、そのうち20名(25%)が地元の尾張西部医療圏内の4病院に就職している(資料6)。このように愛知県内の地元で就職している卒業生に対して、ホームカミングデイ等を通して、卒業後の学修支援やキャリア形成支援を行い、大学院進学を検討している者へのフォローを行い入学につなげることで、将来的に長期的な定員充足を後押しすることになると考える。

以下に、本学看護学部在学学生への入学意向調査の結果を記す（表3-2）。

表3-2 一宮研伸大学の学生における大学院入学意向調査

調査名		一宮研伸大学大学院 看護学研究科看護学専攻 (修士課程)(仮称)入学意向に関するアンケート調査			
調査方法		8問からなる自記式アンケート調査(Web 回収)			
調査期間		2021年9月中旬から9月末日まで			
調査対象	358名 (対象の内訳)	一宮研伸大学看護学部 在学学生			
		2期生 (4年生)	3期生 (3年生)	4期生 (2年生)	5期生 (1年生)
		99名	85名	80名	94名
回答数	273名 (対象の内訳)	65名 (65.7%)	68名 (80.0%)	63名 (78.8%)	77名 (81.9%)
受験意向	受験したい (11名)	2名 (3.1%)	1名 (1.5%)	3名 (4.8%)	5名 (6.4%)
	働いてから考える (143名)	36名 (55.4%)	34名 (50.0%)	39名 (61.9%)	23名 (44.2%)
入学意向 受験した い者の	入学したい (10名)	2名 (3.1%)	1名 (1.5%)	3名 (4.8%)	4名 (5.2%)
	併願希望あり (1名)	0名 (0%)	0名 (0%)	0名 (0%)	1名 (1.3%)

開設の前年度に卒業予定の3年生については、アンケートの結果1名が受験を希望し、かつ合格後の入学意向を示していることから、本学看護学部卒業生からの直接進学者1名については定員充足可能と考える。また、現在の2年生から3名、1年生から4名の入学意向が示され、長期的な定員充足を後押しする結果が得られた。

143名(52.4%)の在学学生が「働いてから考える」と回答した結果については、看護系の大学院受験者の多くが、臨床経験を経てから大学院に進学しており、一般的傾向である。「働いてから考える」卒業生を支援するには、前述の学修支援やキャリア形成支援の他にも、長期履修制度や昼夜開講制・夏季集中講義等の導入により、学びやすい学修環境を準備することで長期的に安定した入学定員の充足を後押しすることになると考える。

上記②③の結果より、2023年4月に設置構想中である一宮研伸大学大学院看護学研究科看護学専攻の学生確保の見通しは、予定する入学定員を上回る回答が得られたため、入学定員の確保は十分に可能であると判断する。

(3)学生納付金の設定の考え方

一宮研伸大学大学院看護学研究科看護学専攻の学生納付金(初年度)を、以下のよう
に設定する。

入学金	授業料	教育充実費	初年度納付金
150,000 円 ※ 学部からの直接進学は全額免除 ※ 卒業生は半額免除	800,000 円	200,000 円	1,150,000 円

※1 この学生納付金は、2022年1月時点での愛知県内の私立看護系大学院(7校)の学
生納付金と、本学看護学部の学生納付金を勘案し設定した。

表4 愛知県内の私立看護系大学院の学生納付金

大学	私立看護系大学院の学生納付金(単位:円)			
	入学金	授業料	教育充実費等	初年度納付金
愛知医科大学	300,000	600,000	100,000	1,000,000
中部大学	100,000	550,000	305,000	955,000
藤田医科大学	150,000	750,000	0	900,000
日本福祉大学	200,000	800,000	150,000	1,150,000
人間環境大学	200,000	950,000	0	1,150,000
日本赤十字豊田看護大学	320,000	680,000	200,000	1,200,000
豊橋創造大学	250,000	720,000	180,000	1,150,000
平均	217,143	721,429	133,571	1,072,143

本研究科の初年度納付金は、愛知県内看護学研究科の平均を上回る設定ではあるが、
県内の初年度納付金の設定範囲(900,000 円から 1,200,000 円)内にあること、本学看護学
部の初年度納付金(168 万円)との整合性も鑑み、設定している(表4)。

なお、設置認可申請時の初年度納付金の設定内容は、大学院の案内リーフレット内の金
額と異なる部分があるが、設置構想中の内容であり、変更になる場合があることを明記してい
る。また、愛知県内の他の2校の初年度納付金も併記して大学院案内リーフレットに記載して
いる。

※2 がん看護専門看護師認定審査受験資格を取得する場合は、初年度納付金に別途実
習費を加算する。

2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

(1) 本学看護学部生に対する取り組み

本学看護学部生に対して、大学院での学修ニーズと入学意向の把握、及び設置構想中の基本計画に対する意見・要望を聴くために、学年ごとに大学院の説明会を設けた。1期生(2021年3月卒業)は2021年2月に、2期生から5期生までは2021年9月の後期ガイダンスの機会に説明会を開催した。アンケート調査での受験希望する理由(複数回答可)では、受験意思を示した11名中8名は「専門看護師として働きたい」と回答していることから、学部生は資格取得志向傾向にあるといえる。

また、本学看護学部のカリキュラムには、少人数制で進められる教養ゼミナール(1年)、連携ゼミナール(2-3年)、総合ゼミナール(4年)が配置されている。このゼミナールにおいて、アドバイザー教員や科目担当教員による大学院の紹介、大学院での体験や大学院で学ぶことの意義や面白さについて語る機会があり、看護学部生の大学院に関する興味と関心は高まってきている。

(2) 地元看護職に対する取り組み

2021年の7月から12月にかけて、近隣の300床以上の病院8か所(実習病院含む)、近隣の看護専門学校6か所、訪問看護ステーション1か所、尾張西部医療圏内の保健所1か所と自治体1か所を訪問し、設置構想中の大学院(修士課程)に関する情報提供と臨床現場の見解について意見を聴く機会を設けた。多くの病院では、看護管理職の育成に対する要望が強く、リーダー層の育成及び高度看護実践者の人材確保の手段として、看護職に大学院進学を勧めたい意向が強く表明された。同時に、新型コロナウイルス感染症対策への取組として、地域連携の更なる強化や地域の医療ニーズの課題解決に資する人材育成についても大学院教育への期待が寄せられた。

また、2021年6月に“地域社会が求める質の高い看護を恒常的に地域住民に提供していくための諸活動を行う”ことを目的として、本学に看護地域創成研修センターが開設された。新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、このセンターでの活動を通して地域の看護職への大学院の案内・情報提供等に努める予定である。さらに、本センターの役割の一つとして地域の看護職への研究支援を掲げており、この研究支援を通して将来的に大学院への進学が期待される看護職の進学意欲の萌芽・向上につながるような支援を考えている。

認可申請後は、本学オープンキャンパスの機会(7-8月、年間で計4回)や、ホームカミングデイ(年1回)を利用し、大学院の説明会・相談会を開催する予定である。

(3)地元の看護専門学校教員への取り組み

愛知県は看護の基礎教育機関として、本学も含めて15校の大学と、30校の看護専門学校が開設されている(資料7)。専門学校の看護教員になるには、看護師養成施設を卒業後、5年間の臨床看護経験を必要とし、その後看護教員として必要な1年間程度の研修や講習を受講することとなっている。あるいは大学において教育に関する科目を履修したものとされ、その科目とは、教育の本質・目標、心身の発達と学習の過程、教育の方法・技術、教科教育法に関する科目で、そのうちから合計4単位以上を修得することが条件となっている。本大学院看護学研究科において、必要な科目の履修・修得が可能であり、これらの学修の場と機会を提供することで、看護専門学校の看護教員としてのキャリア形成を支援したいと考えている。

2. 人材需要の動向等社会の要請

1)人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

(1)【本研究科の教育研究上の目的】

尾張西部医療圏における少子高齢化の進展とともに派生してくるさまざまな健康課題と多様化する医療ニーズに対応し、研究・教育能力を有する高度な看護実践者を育成することである。

以上を鑑み、本研究科が育成しようとする人材像を以下に掲げる。

(2)本研究科が育成しようとする人材像

本学が設置する大学院看護学研究科は、地域社会なかでも尾張西部医療圏近隣の保健医療の現状をふまえ、21世紀の我が国における多様化する医療ニーズに対応できる以下のような人材を育成する。

人権尊重と擁護を根幹とした倫理観及び科学的根拠に裏付けされた看護学の幅広い知識と看護実践力を身に付け、リーダーシップ・マネジメント力及び研究・教育能力を有し、看護実践における課題の解決や看護学の発展に寄与することができる人材

2) 上記が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な根拠

(1) 地域の保健医療の現状からの要請

本学のある尾張西部医療圏(一宮市・稲沢市)においては、少子高齢化の進展とともに増加する認知症高齢者の療養生活を地域で支えるために、地域包括ケアシステムの構築に貢献することが重要な課題となっている。また、本医療圏における、がんによる死亡割合は全国平均・愛知県全体の平均を上まわっている。生活習慣病の重症化予防をはじめ、在宅での適切な医療を必要としている患者が増加している傾向にあり、これらに対応する医療従事者の資質の向上が求められている。つまり、本医療圏においては地域包括ケアシステムの構築をリードし、その人らしい療養生活の充実した支援には、看護職の能力や力の育成は喫緊の課題である。

(2) 地域の看護部長及び管理責任者からの本学研究科への期待や要望

採用等意向調査での自由記述から、下記の要望が寄せられている。

- ・現場の看護師の実践レベルを向上させることのできるリーダー教育者の育成
- ・看護職の看護研究支援へのニーズ
- ・大学との共同体制による共同研究の提案
- ・リエゾン精神看護、老人看護の専門看護師教育課程の開設等の専門性の拡充ニーズ
- ・現任看護職の学修ニーズへの対応
- ・社会人学生として修士課程が学べるよう制度の設置等である。

(3) 一宮市からの要望

本学がある一宮市からは、「大学院が設置されると一宮市においては、初の大学院となり高度な医療を担う看護師の養成が期待されることに加えて、地域での看護職や介護職の指導及び保健行政への助言などの協力が得られる」こと、また「より質の高い医療・福祉を目指すためには、高度な知識を有する大学院との協力関係の構築が不可欠である」こと等から、大学院設置に向けての要望が出されている。

(資料8: 一宮市長からの要望書)

(4) 一宮市医師会からの要望

地域医療活動と各種保健事業を通じて、住民の健康保持増進ならびに公衆衛生の向上に日々努めている、一宮市医師会からも大学院設置の要望が寄せられている。その理由とし

て「医学医療は日進月歩で変化し、地域でもより質の高い医療提供が求められている。その実現のためには、新しい知見に基づいた高度な知識と技術を有する人材の確保が必要不可欠である。」とし、「一宮研伸大学大学院看護学研究科の開設計画は、医療の進歩に即応する看護教育の地域拠点として看護職の資質向上に寄与し、ひいては住民の更なる健康保持増進につながる好機である」と、その実現を強く希望している。

(資料9:一般社団法人一宮市医師会 会長からの要望書)

以上(1)から(4)までの地域や社会からの要請を要約すると

- ①地域包括ケアシステム構築の推進及び生活習慣病の重症化予防等に対応できる医療従事者の資質の向上
- ②新しい知見に基づいた高度な知識と技術を有する人材の確保
なかでも看護職の実践レベルを向上させることのできるリーダー・教育者の育成
- ③保健医療レベルの質向上めざして、高度な知識を有する大学院との協力関係の構築
これらを通して地域住民への健康保持増進につながることを期待されている。

本研究科で育成しようとする人材像は、〈大学院における看護系人材養成の目指すもの〉として掲げられている“看護学の学術研究を通じて社会に貢献できる研究者や教育者の養成、学士課程では養成困難な特定領域の高度専門職業人や、保健、医療、福祉等に携わる専門職の協働においてマネジメント能力を発揮できる人材の養成”と同様の人材を示しており、人材育成の方向性としては看護系人材養成の目指すものに沿っているといえる(大学における看護系人材の養成の在り方に関する検討会 最終報告:2011年3月)。

以上より、地域の健康課題と多様化する医療ニーズに対応し、研究・教育能力を有する高度な看護実践者を育成しようとする本研究科が果たす地域創成に向けた役割は大きいと考える。

なお、本研究科修了予定者の採用ニーズについては次に述べる。

(5) 本研究科修了予定者の採用意向について

本学看護学部の臨地実習施設を中心に、看護部長及び機関・施設の管理責任者を対象に、採用等意向に関するアンケート調査を行った(資料10)。

表5 一宮研伸大学大学院看護学研究科(仮称)修了者の採用意向

調査名	一宮研伸大学大学院看護学研究科(仮称) 採用等意向についてのアンケート調査
調査対象	看護部長及び機関・施設の管理責任者 (訪問時の依頼11件、郵送依頼22件:合計33件)
調査方法	5問からなる自記式アンケート調査 郵送法による回収
調査期間	2021年10月-12月
回答数	29(回収率:87.9%)
採用意向	採用したい(7施設) 採用を前向きに検討したい(8施設) どちらともいえない(12施設) 予定なし(1施設) 無回答(1)

15施設(51.8%)からは、大学院修士課程修了生の採用に意欲が示された。“採用したい”及び“採用を前向きに検討したい”と回答した場合の採用可能な人数の記述を求めたところ、ある病院からは10名以上、ある看護専門学校からは制限なしに採用したいとの回答があった。本学の設置構想中の研究・教育能力を備えた高度看護人材への期待の表れであるといえる。

上記の結果より、病院・診療所、看護専門学校、看護訪問ステーションからは採用の意向があることが明確になり、大学院修士課程修了後の進路については、人材需要があることが確認できた。

以上より、看護における研究・教育能力、さらに高度の専門性を有する看護実践者としての社会からの人材需要は大きいと考える。

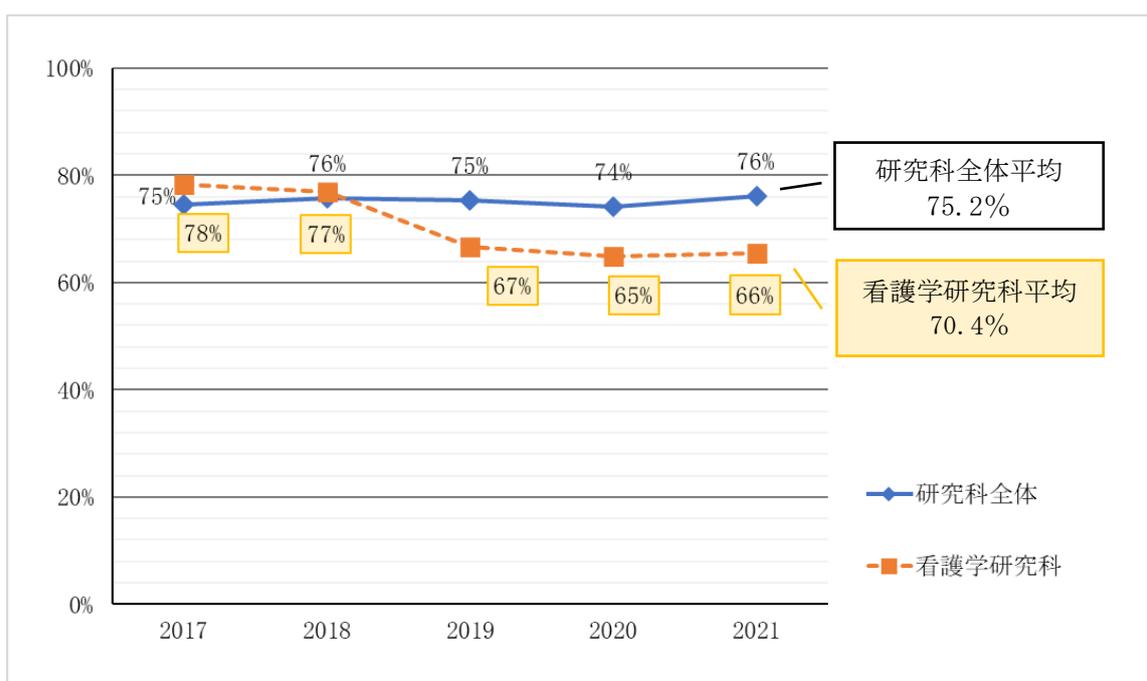
資 料 目 次

資料1 (私立大学研究科の入学定員充足状況)	2
資料2 (愛知県内の私立看護系研究科・専攻科の入学定員充足状況(令和3年度)) .	3
資料3 (卒後・継続教育及びキャリア形成を支援するためのニーズ調査)	4
資料4 (一宮研伸大学大学院看護研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)入学意向に 関するアンケート調査結果(看護職・看護教員向け))	14
資料5 (一宮研伸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程(仮称)入学意向に 関するアンケート調査結果(1期生・卒業生))	22
資料6 (1期生の進路状況内訳)	35
資料7 (愛知県内における看護専門学校開設数の一覧)	37
資料8 (一宮市長からの要望書)	38
資料9 (一宮市医師会からの要望書)	39
資料10 (一宮研伸大学大学院「看護学研究科 修士課程(仮称)」採用等意向に 関するアンケート調査結果(看護管理者向け))	40

<資料 1> 私立大学研究科の入学定員充足状況

年度	研究科全体	看護学研究科
平成 29 (2017)	74.6%	78.2%
平成 30 (2018)	75.7%	76.9%
令和元 (2019)	75.3%	66.6%
令和 2 (2020)	74.1%	64.9%
令和 3 (2021)	76.1%	65.5%
5 箇年平均	75.2%	70.4%

※「私立大学・短期大学等 入学志願動向」
日本私立学校振興・共済事業団を基に一部抜粋・加工



【図：私立大学研究科 入学定員充足状況の推移】

<資料 2> 愛知県内の私立看護系研究科・専攻科の入学定員充足状況
(令和 3 年度)

大学	入学定員	入学者数	入学定員充足率	備考
藤田医科大学	50 名	56 名	112.0%	専攻全体
愛知医科大学	15 名	13 名	86.7%	高度実践看護師 (CNS/NP コースあり)
人間環境大学	20 名	7 名	35.0%	助産学専攻あり 博士後期課程あり
中部大学	6 名	2 名	33.3%	
日本福祉大学	10 名	3 名	33.3%	
日本赤十字豊田看護大学	10 名	3 名	33.3%	博士後期課程あり
豊橋創造大学	12 名	4 名	33.3%	健康科学専攻
全体	123 名	88 名	71.5%	

※入学定員充足率：各大学のホームページを参照

〈資料3〉卒後・継続教育及びキャリア形成を支援するためのニーズ調査

出典：尾張西部医療圏における看護職者の卒後・継続教育及びキャリア形成を支援するためのニーズ調査
(2019年度特別研究助成研究成果発表「特研2019-2」)(白鳥 さつき ほか)

平成31年度 特別研究費 助成

尾張西部医療圏における看護職者の卒後・継続教育 およびキャリア形成を支援するためのニーズ調査

白鳥さつき¹⁾，石井成郎¹⁾，肥田武¹⁾，田畑真澄¹⁾，岩本由香里¹⁾，
小林たつ子¹⁾ 加藤みちよ²⁾ 前田雅代³⁾

1) 一宮研伸大学看護学部

2) 大雄会総合病院看護部長

3) 木曾川市民病院看護部

研究背景

- 2019年，看護系大学は全国で288と増加している。私立系の大学においては，18歳人口の減少が始まった2018年問題を皮切りに，生き残りをかけた学生獲得競争が本格化し，とりわけ小規模の大学では，教育の質の向上はもとより，特色ある地域貢献の実現が最重要課題となっている。本学も例外ではない。
- 看護職者の卒後研修やスペシャリスト養成などのキャリア形成支援は日本看護協会を中心に展開しているが，各医療施設や病院を有する大学のセンターにおいても実施されている。しかし，このような教育機関は偏在しており，全国160万人の看護職者のニーズを満たすには至っていないことが推察される。
- 一宮研伸大学が位置する尾張西部医療圏では，看護系大学が2校（一宮研伸大学，修文大学看護学部）開設された。近隣に看護職のための教育研修センターや大学院は未だ設置されていない。そのため，尾張西部医療圏の19病院の看護職約600名を対象に教育ニーズやキャリア形成についてどのように考えているのか明らかにする必要がある。一宮研伸大学では，**将来構想として看護職者のための地域基盤型「看護研修・研究センター」の開設を企画しており**，これらの調査結果は重要な基礎資料となる。将来的には，地域の看護職者のスキルアップやキャリアアップなどを具体的に支援でき，このような活動が地域貢献の第一歩につながると考える。

研究目的

- 尾張西部医療圏の看護職者の卒後・継続教育およびキャリア形成を支援するためのニーズを把握することを目的とする。
- 本調査は1段階目の調査で、
一宮研伸大学と大雄会総合/第一病院看護部との共同事業による地域基盤型「看護研修・研究センター」設置に向けた基礎資料を得ることである。

研究方法

1. 研究デザイン：自記式質問紙調査による記述型研究
2. 研究対象

下記19施設に勤務する看護職者（看護管理者各施設3～5名
看護師各施設15～30名程度）およそ500～600名

総合大雄会病院，木曾川市民病院，大雄会第一病院，

国井病院，泰玄会西病院，尾洲病院，山下病院，一宮西病院，

千秋病院，上林記念病院，尾西記念病院，いまいせ心療センター，

厚生連尾西病院，いまむら病院，稲沢市民病院，一宮市民病院，

北津島病院，泰玄会病院，六輪病院

3. 研究方法

- 1) 調査期間：2019年—2020年
- 2) 調査方法：郵送法による自記式質問紙調査
- 3) 調査項目：個人属性，組織特性（病床数，看護部の研修制度，看護体制（10：1,7：1など），研修制度と支援の内容，研修費や研修日の有無など），現在必要と考える研修内容，キャリアアップの希望，スペシャリストの資格取得，大学院進学（領域など），これに記述回答欄を設け，具体的な要望を問う内容22項目で構成（看護管理者は26項目）。
- 4) 分析方法：
記述統計による全体の分布の把握，各項目の度数分布
組織別の分類など。
記述回答は類似した内容でまとめ，概要を把握する。

倫理的配慮

1. 19施設の看護部の責任者に研究の趣旨と概要を郵送し，調査の可否についてFAXで返信を求め，許諾を得た施設を対象とした。
その際，調査可能な人数についても（看護師，看護管理者）の返答を得た。
2. 各個人への質問紙には依頼文を添付し，調査協力は自由意志であること，調査を断る権利，承諾しても中断する権利があること，断っても何ら不利益を被らないことを明記した。
3. 質問紙は無記名で，結果は個別返送とし上司の強制力が働かないよう配慮した。返信をもって同意を得たと判断した。
4. 本調査は一宮研伸大学倫理審査委員会の承認を得て実施した。

結果

- ▶ 9施設より許諾を得て、264部配布し158部回収した
(回収率59.8%)
- ▶ 一部に欠損値があっても回答のあった項目ごとに記述統計を算出した
(有効回答率100%)

表1 対象者の背景 N=156 n(%)

職位	スタッフ	管理者				
	95 (61.2)	60 (38.7)				
性別	女性	男性				
	140 (88.6)	16 (10.1)				
年代	20台	30台	40台	50台	60台	
	18 (11.4)	35 (22.2)	60 (38.0)	39 (24.7)	4 (2.5)	
最終看護 教育課程	3年課程 専門学校	短期大学 3年課程	看護系大学	看護系大学院	准看護師 養成校	その他
	106 (68.4)	23 (14.6)	9 (5.7)	2 (1.3)	2 (1.3)	13 (8.4)
看護体制	7:1	10:1	13:1	15:1	20:1	その他
	61 (38.6)	28 (17.7)	10 (6.3)	10 (6.3)	6 (3.8)	21 (13.3)

継続教育およびキャリアアップについて

「興味がある」を加えると58%が進学を意識している



図1 看護系大学院への進学希望（管理者は部下の進学計画）

大学院に進学を希望する領域：専門看護師（CNS）

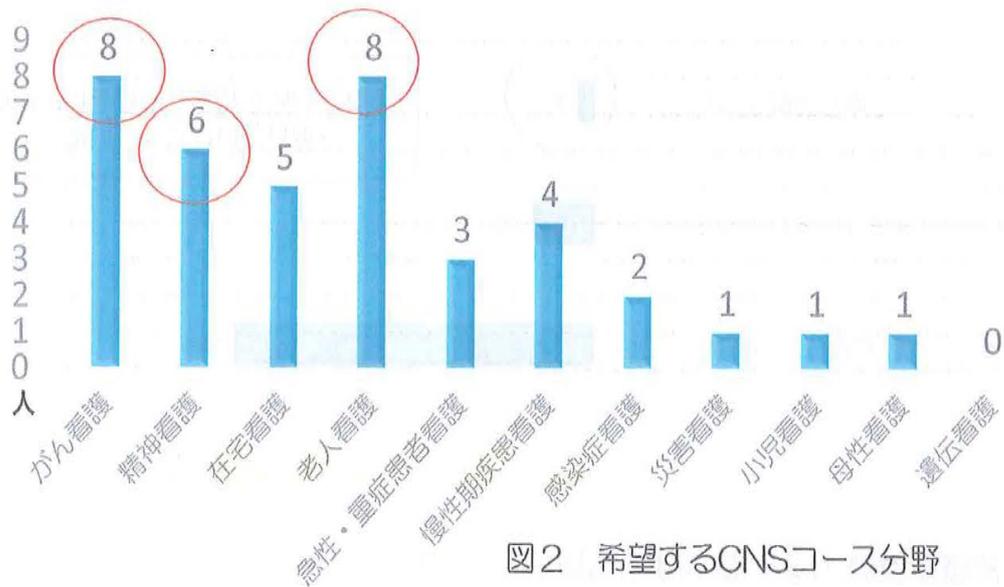
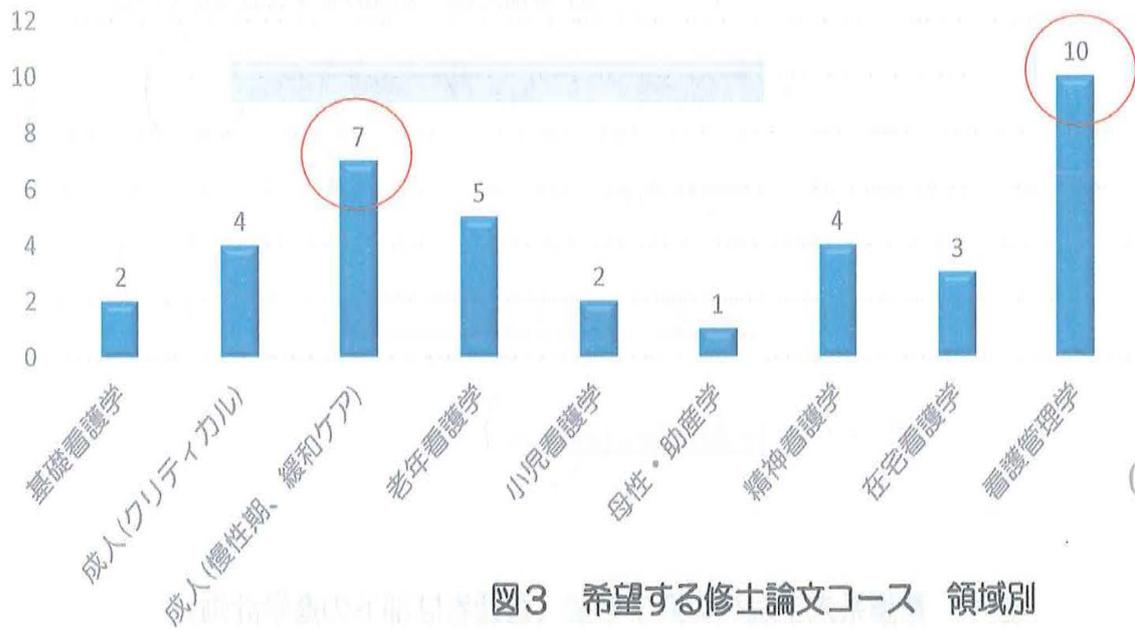
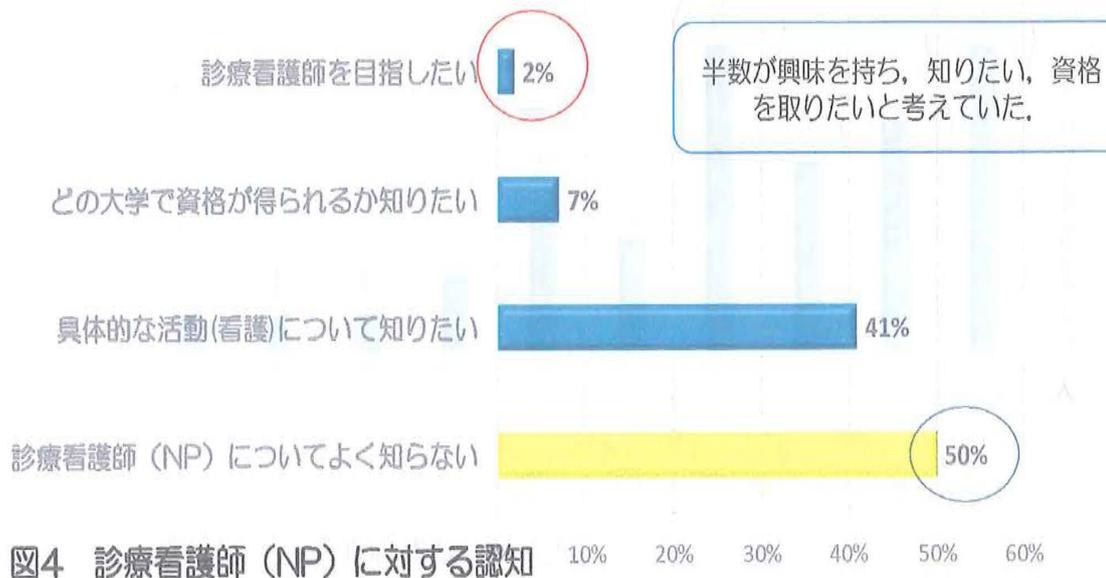


図2 希望するCNSコース分野

大学院に進学を希望する領域：修士論文コース



診療看護師 (NP) について



厚生労働省が推進する 21区分38行為の特定行為研修について

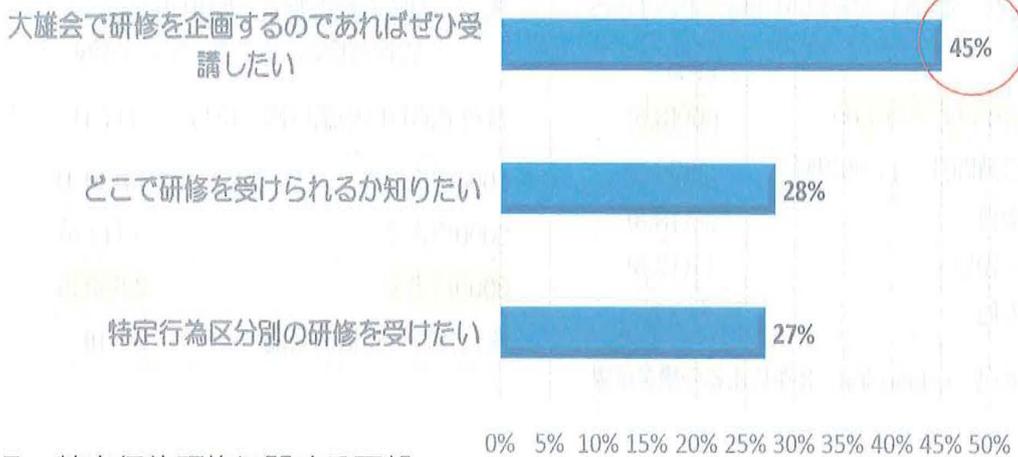


図5 特定行為研修に関する要望

受講したい研修会について

（順位5位までの複数回答）

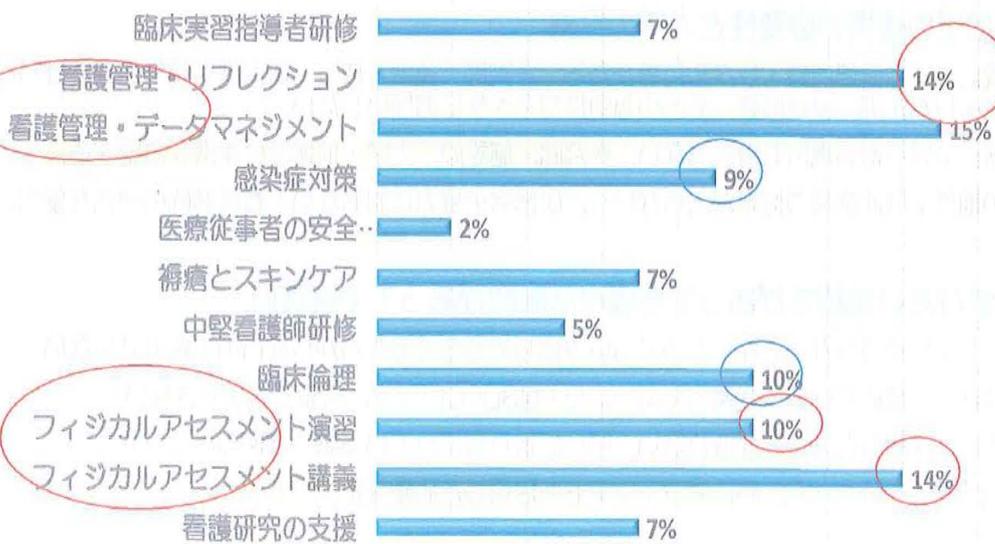


図6 希望する研修会の内容

研修を受講しやすい日時と補助できる金額について

表2 受講しやすい日時

	n(%)
平日9:00~17:00	60(43.5)
平日時間外 17:00以降	28(20.3)
土曜日	26(18.8)
日・祝日	17(12.3)
その他	7(5.1)

その他：e-learning, 出張による受講を希望

表3 研修受講料の補助可能額

管理者回答	n(%)
有料であれば受講は個人持ち	4(7.1)
1000円まで	17(30.4)
2000円まで	7(12.5)
3000円まで	22(39.3)
資料代なら支払い可能	5(8.9)

記述回答 抜粋

1. 地域の連携の必要性と大学の役割

- *病院によって研修内容・レベルに差がある。病院間で連携を取って研修会を充実させてほしい。
- *地域のレベルアップが必要。その中心的役割を大学にお願いしたい。
- *最新の情報を得る場所も機会もない。病院間、施設間、大学・地域等の連携を希望する。
- *この地域では他施設の情報が入らないし、研修会の協力体制もない。看護師間の連携を望む。

2. 学びたい気持ちがあっても様々な制約があてできない。

- *進学したい気持ちがあるが、どのくらい支援してもらえるかわからないので踏み込めない。
- *これまで、研修会の場所が遠方であったり1回8000円以上と高額で継続できない。
- *子育て、家事などで時間が取れない。時代に取り残されている感じがある。
- *時間的制約を解決するためにオンデマンドを活用した研修を希望する。

3. 研修受講後の役割が不明瞭

- * 研修後の活躍の場の確保がない。
- * 研修に行っても、戻ってきた後の支援や待遇が遅れている。
- * 取得した資格が活かされない。

4. その他

- * このようなアンケート調査に答えることで、自己研鑽の必要性を喚起された。
- * 自費で休日を使っての研修は管理者として勧められない。
- * この時代に求められる多職種の専門性を学ぶ研修を受けたい。
- * オープンキャンパスの講義で診療看護師にとっても興味を持った。
ぜひ、実践者から話を聞きたい。

考察

- 尾張西部医療圏の対象集団は看護スタッフが6割、3年課程専門校卒が6割、40歳台が最も多い中堅以上の看護師集団であった。看護体制は7対1（急性期病床）が最も多く、次いで10対1であった。
- 進学を希望する者は「興味がある」を含めると5割以上で、関心が高いことが分かった。進学を希望する領域の上位はCNSではがん看護、老人看護で修士論文コースでは看護管理、慢性期(緩和ケア)看護であった。近年の社会情勢の変化に応じたニーズであることが推察された。
- 特定行為研修や診療看護師については、尾張西部医療圏では十分な情報がないことが推察されたが、資格取得への関心が高いことが分かった。
- 希望する研修内容は、看護管理者向けのリフレクションやデータマネジメントが最も多く、次いでフィジカルアセスメントの講義と演習であった。

これらの研修は比較的提供しやすい内容であり、大学が企画・運用することで貢献できると考える。

• 記述回答から、キャリアアップの要望があっても様々な制約があることや地域の施設間の連携や情報共有が乏しいために発展がないことを憂慮していることが分かった。

大学が果たすべき役割への示唆と考える。

結論

- 尾張西部医療圏の看護師は進学への希望、興味を持つものが5割以上であった。
- 進学希望の領域の上位はCNSではがん看護、老人看護、修士論文コースでは看護管理学領域であった。
- 希望する研修内容の上位はリフレクション、データマネジメント、フィジカルアセスメントであった。
- 研修を受講しやすい日時は平日で、補助は3000円までが上位であった。
- 記述回答では、キャリアアップを希望していても時間的・金銭的制約があり、かなわない実態があった。
- 地域における施設間の連携や情報共有に大学への役割期待があった。



ご清聴ありがとうございました。
発表資料が必要な方はお知らせください。

<資料 4> 一宮研伸大学大学院看護研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）入学意向に関するアンケート調査結果（看護職・看護教員向け）

調査期間	2021年7月～2021年12月
対象	近隣の300床以上の病院8か所、看護専門学校6か所 訪問看護ステーション、尾張西部医療圏内の保健所と自治体
調査方法	8問からなる自記式アンケート調査（Web回収と郵送法）
配布数	Web調査を含むため算出不能
回答数	411名
回答率	Web調査を含むため算出不能

※「構成比」（%）はいずれも、少数第二位を四捨五入。

問1. 長期履修制度の活用希望について

番号	選択項目	回答数	構成比
1	活用する	117	28.5%
2	活用しない	120	29.2%
3	分からない	174	42.3%
	計	411	100.0%

問2. 昼夜開講制度（6・7限の開講）及び夏季集中講義制度を活用希望について

番号	選択項目	回答数	構成比
1	活用する	153	37.2%
2	活用しない	116	28.2%
3	分からない	142	34.5%
	計	411	100.0%

問3. 本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）の受験希望について

番号	選択項目	回答数	構成比
1	すぐに受験したい	11	2.7%
2	いずれ受験したい	66	16.0%
3	受験するつもりはない	334	81.3%
	計	411	100.0%

問4. 本学大学院に進学するにあたって、興味のある分野（領域）について（複数回答）。

※構成比は問3で「すぐに受験したい・いずれ受験したい」と回答した77名。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	地元創成マネジメント学	19	24.7%
2	地元創成看護教育学	11	14.3%
3	次世代育成看護学	25	32.5%
4	急性・療養生活支援看護学	32	41.6%
5	メンタルヘルス支援看護学	32	41.6%
6	がん療養生活支援看護学	13	16.9%
7	がん看護専門看護師教育過程	14	18.2%
※複数回答のため、回答数は延べ(n=77)。			

問5. あなたが本学大学院へ受験希望する理由について（複数回答）。

※構成比は問3で「すぐに受験したい・いずれ受験したい」と回答した77名。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	実践力を高めたい	46	59.7%
2	看護教育に携わりたい	27	35.1%
3	看護研究者になりたい	8	10.4%
4	専門看護師として働きたい	15	19.5%
5	現場の指導者・管理的役割を担いたい	27	35.1%
6	その他	2	2.6%
※複数回答のため、回答数は延べ(n=77)。			
【その他】 ・自分自身のため ・現職の実践力を高めたい			

問6. あなたが本学大学院を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。

※構成比は問3で「すぐに受験したい・いずれ受験したい」と回答した77名。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	入学したい	51	66.2%
2	併願大学院の合否結果による	26	33.8%
	計	77	100.0%

問7. 自宅及び職場におけるオンライン環境が整っているかを教えてください。

※構成比は問3で「すぐに受験したい・いずれ受験したい」と回答した77名。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	整っている	54	70.1%
2	大学院入学時に整える	12	15.6%
3	整っていない	11	14.3%
	計	77	100.0%

問8. 問3で、「受験するつもりはない」と回答された理由を教えてください（複数回答）。※構成比は問3で「受験するつもりがない」と回答した334名。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	大学院への進学に興味がない	216	64.7%
2	進みたい研究分野・領域がない	73	21.9%
3	構想内容に魅力を感じない	11	3.3%
4	他大学院への進学を希望している	12	3.6%
5	新設の大学院に進学するのは不安である	29	8.7%
6	詳細を把握したうえで進学を検討する	45	13.5%
7	その他	30	9.0%
	【その他】 ・定年が近い (3) ・年齢 (7) ・学費がかかるため、学費がすごく高い (2) ・家庭優先のため ・子どもがいるから行けない ・子育てしながら勤務しているので、時間がない (3) ・今の仕事で手いっぱい、多忙である (2) ・大学院の進学自体に、仕事との両立等、不安を抱えている ・大学院への進学には興味はあるが、今はまだ具体的に考えていない ・他も検討したい ・現時点で大学院への進学が必要だと考えていないため ・今すぐ進学について考えられないため ・コロナで楽しみもまく、意欲もない ・困難 ・看護専門学校卒であるため ・修士課程を修了している (3)		

【その他】 本学大学院看護学研究科へのご意見や要望があれば教えてください。（自由記述）(n=22)

- ・よくわからない
- ・特になし (9)
- ・専攻科の増加
- ・新しい試みで良いと思いますが、自分は50歳を過ぎ、もう学ぶ機会より身体へのメンテナンスが必須の状態です。10年前だったら考えていたかも知れませんが、現時点では若い世代の志に期待したいと思います。
- ・未来の看護師育成に向けて、とても素敵な構想と思います。頑張ってください。
- ・近場で開かれるのは嬉しい。働きながら学べるのは魅力だと思います。
- ・期待されるのは、魅力ある学科と受けてみたいと思える講師の存在があることが、選択の一つだと思います。
- ・自由に参加可能な講演等のお知らせがあると良いかと思えます。
- ・大学院の情報を希望します。
- ・科目履修制度は活用したい。
- ・修士後期課程があるといい
- ・リモートで受講できる科目が多いと良い。
- ・一宮市には大学院がないので、学びの場ができるのはよいと思えます。

※本学大学院を「すぐに受験したい」・「いずれ受験したい」と回答した者のうち、本学に「入学したい」と回答した51名の内訳。

・大学院の受験希望と入学意向 について

	選択項目	入学したい	併願大学院の合否結果による
1	すぐに受験したい	9	2
2	いずれ受験したい	42	24
	計	51	26

・長期履修制度の活用について

	選択項目	すぐに受験したい (入学したい)	いずれ受験したい (入学したい)
1	活用する	8	21
2	活用しない	0	4
3	分からない	1	17
	計	9	42

・昼夜開講制 (6・7限の開講) 及び夏季集中講義を制度の活用について

	選択項目	すぐに受験したい (入学したい)	いずれ受験したい (入学したい)
1	活用する	9	29
2	活用しない	0	2
3	分からない	0	11
	計	9	42

・興味のある分野 (領域) ※複数回答

	選択項目	すぐに受験したい (入学したい) (n=9)	いずれ受験したい (入学したい) (n=42)
1	地元創成マネジメント学	2	15
2	地元創成看護教育学	1	7
3	次世代育成看護学	3	3
4	急性・療養生活支援看護学	3	19
5	メンタルヘルス支援看護学	3	14
6	がん療養生活支援看護学	2	8
7	がん看護専門看護師教育過程	3	8

・本学大学院に受験を希望する理由 ※複数回答

	選択項目	すぐに受験したい (入学したい) (n=9)	いずれ受験したい (入学したい) (n=42)
1	実践力を高めたい	3	22
2	看護教育に携わりたい	0	12
3	看護研究者になりたい	4	1
4	専門看護師として働きたい	5	7
5	現場の指導者・管理的役割を担いたい	2	18
6	その他	3	0

<資料 4> 看護職・看護教員向けリーフレット

看護職・看護教員対象

一宮研伸大学看護学研究科看護学専攻（設置構想中）のご案内 令和3年

修士課程の概要	設置時期：2023年（令和5年）4月（予定） 設置場所：愛知県一宮市常願通五丁目4番1（一宮研伸大学キャンパス内） 入学定員：6名を予定/男女共学 学位：修士（看護学） 修業年限：2年 教育理念：学術の理論及び応用を教授研究し、深い学識および卓越した能力を培い、看護における“ <u>知と技のプロフェッショナル</u> ”として地元の看護界の発展に寄与する。 教育目的：広い視野に立ち精深な学識を授け、看護分野における教育・研究能力と高度の専門性を有し、 <u>地元創成を先導する有為な人材を育成する。</u>					
	養成する人材	次の資質を兼ね備えた人材を育成します。 1. 地元創成に必要なケアシステムを構築する教育力およびマネジメント力 2. 地元の健康課題・ニーズに対応できる力および地元生活創成のための高度な看護実践力 3. 地元の健康課題の解決に取り組むための高い水準の幅広い教養と専門的知識、研究能力や教育的思考力				
研究科の特色	地域社会の人々の健康な生活の創成を牽引できる人材、教育・研究能力を有する看護実践者を養成するために、授業や演習に地元住民との連携強化を組み込んだカリキュラムを編成しています。					
	研究分野	領域				
	地元創成ケアシステム学	①地元創成マネジメント学、②地元創成看護教育学				
	地元生活創成看護学	③次世代育成看護学、④急性・療養生活支援看護学 ⑤メンタルヘルス支援看護学、⑥がん療養生活支援看護学				
	> ⑥のがん療養生活支援看護学に、がん看護専門看護師(CNS)の教育課程が併設されています。 > 働きながら学べる長期履修制度により、2年間の授業料で3年間の在籍履修が可能です。 > 夜間・土曜日（昼間）の開講や夏季集中講義など、社会人が学びやすいカリキュラムです。					
受験資格	・大学を卒業した者、又は令和5年3月31日までに卒業見込みの者 ・学士の学位を授与された者、又は令和5年3月31日までに授与見込みの者 ・本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた22歳以上の者(出願資格審査あり) *出願要件：6領域ともに、看護師資格を有する者及び看護師資格取得見込みのである者 *がんCNS教育課程履修希望者は、がん関連病棟で看護師として3年相当の実務経験がある者					
選抜方法	時期：2022年秋ごろ（設置認可確定後）に、本学ホームページで募集要項の案内を提示予定 方法：一般選抜、特別選抜（施設推薦） 試験科目：面接、小論文、専門領域試験（施設推薦の場合は免除）等					
修了後の進路	取得可能な資格：認定看護管理者受験資格、がん看護専門看護師受験資格が得られます。 進路：高度看護専門職、教育担当者、リーダー、管理者、国家・地方公務員専門職、大学看護教員、研究員、博士課程への進学等で活躍が期待されます。					
学費（他大学との比較）	大学院専攻科名	入学金	授業料	教育充実費/実験実習費	初年度納入金	アクセス（所在地） <p>JR東海道本線 約11分 大垣 → 岐阜 → 美濃太田 JR高山本線 約32分 岐阜 → 美濃太田 JR東海道本線 特別快速または新快速で約10分 名古屋 → 中島通一丁目 → 一宮研伸大学 JR尾張一宮 名鉄一宮駅 徒歩約4分 名鉄バス約10分 JR東海道本線 特急または急行で約15分 名古屋 → 金山 → 多治見 JR中央本線快速 約30分 名古屋 → 金山 → 多治見 JR西本線 区間快速 約24分 名古屋 → 金山 → 多治見 JR東海道線 約4分 名古屋 → 金山 → 多治見 名鉄名古屋本線 快速特急約45分 名古屋 → 金山 → 多治見</p>
	一宮研伸大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）	200,000	800,000	150,000	1,150,000	
	日本赤十字豊田看護大学大学院 看護学研究科看護学専攻	320,000	680,000	200,000	1,200,000	
	日本福祉大学大学院 看護学研究科看護学専攻	200,000	800,000	150,000	1,150,000	
	※本学看護学研究科（仮称）の学費は予定のものです。 他大学の学費は、各ホームページ掲載情報です（令和3年7月時点）。					

注：上記は設置構想中の内容であり、変更になる場合があります（大学院開設準備室）。

〈資料 4〉 看護職・看護教員向け依頼文

2021年7月

看護職・看護教員の皆様

一宮研伸大学
学長 大久保 清子

一宮研伸大学大学院 看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）入学意向に関するアンケート調査ご協力をお願い

一宮研伸大学は2023年（令和5年）4月に、「大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の設置を予定しています。本学大学院では、看護職の資格を有しキャリアアップやキャリアチェンジに挑戦したい人を広く受け入れ、教育・研究能力のある高度看護実践者の育成を目指しています。コロナ禍で、何かと気忙しいなか恐縮ですが、皆様の本学大学院への入学意向に対する率直なご意見・意向をお聞かせください。

なお、皆様からいただいたご意見・意向は、入学意向に係る統計資料及び文部科学省への提出資料として活用させていただきますが、個人が特定されることや他の目的に利用することは一切ありません。

上記の趣旨をふまえ、アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

回答の所要時間は約5分です。回答を終わりましたら、「送信」をクリックしてください。

【対象】

看護職・看護教員の皆様

【調査方法】

以下のURL、あるいはQRコードから調査項目にご回答をお願いいたします。

URL：<https://forms.gle/SzbnEKgG6ZDQsByaA>

QRコード：



【調査期日】

2021年9月30日までです

【お問合せ】

〒491-0063 愛知県一宮市常願通 5-4-1 TEL：0586-28-8100

一宮研伸大学 大学院設置準備室長 下平 E-Mail：y.shimodaira.t@ikc.ac.jp

事務局総務課 村上 E-Mail：s.murakami.o@ikc.ac.jp

<資料 5-1> 一宮研伸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）入学意向に関するアンケート調査結果（1期生・卒業生）

調査期間	2021年2月
対象	一宮研伸大学看護学部1期生（卒業生）
調査方法	7問からなる自記式アンケート調査（回収箱での収集）
配布数	1期生80名
回答数	68名
回答率	85.0%

*「構成比」（%）はいずれも、少数第二位を四捨五入。。

問1. 長期履修制度についてどう思いますか。

	選択項目	回答数	構成比
1	評価する	45	66.1%
2	評価しない	1	1.5%
3	分からない	21	30.9%
4	無回答	1	1.5%
	計	68	100%

問2. 昼夜開講制度（5・6限の開講）及び夏季集中講義制度について、どう思いますか。

	選択項目	回答数	構成比
1	評価する	48	70.6%
2	評価しない	2	2.9%
3	分からない	18	26.5%
	計	68	100%

問3. 本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）を受験したいと思いますか。

	選択項目	回答数	構成比
1	受験する	8	11.8%
2	働いてから考える	50	73.5%
3	受験したいと思わない	10	14.7%
	計	68	100%

問4. 現時点で、あなたが興味をもつ分野（領域）を教えてください（複数回答）。

※構成比は問3で「受験する」と回答した8名。

	選択項目		回答数	構成比
1	基盤看護学	看護管理	6	75.0%
		教育	6	75.0%
2	実践看護学	母子	3	37.5%
		広域看	2	25.0%
		急性・療養	4	50.0%
3	高度実践看護学	がん看護専門看護師	1	12.5%

問5. あなたが本学大学院の受験を希望する理由について、教えてください（複数回答）。

※構成比は問3で「受験する」と回答した8名。

	選択項目	回答数	構成比
1	実践力を高めたい	8	100%
2	看護教育に携わりたい	3	37.5%
3	看護研究者になりたい	0	0%
4	専門看護師として働きたい	3	37.5%
5	現場の指導者・管理的役割を担いたい	4	50.0%
6	その他	0	0%

問6. 本学大学院を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。

※構成比は問3で「受験する」と回答した8名。

	選択項目	回答数	構成比
1	入学したい	5	62.5%
2	併願大学院の合否結果による	3	37.5%
	計	8	100.0%

問7. 問3で、「受験したいと思わない」と回答された理由を教えてください（複数回答）。※構成比は問3で「受験したいと思わない」と回答した10名。

	選択項目	回答数	構成比
1	大学院への進学に興味がない	9	90.0%
2	進みたい研究分野・領域がない	1	10.0%
3	構想内容に魅力を感じない	0	0%
4	他大学院への進学を希望している	0	0%
5	新設の大学院に進学するのは不安	0	0%
6	奨学金返済の必要がある	1	10.0%
7	詳細を把握したうえで進学を検討する	0	0%
8	その他	0	0%

【その他】大学院へのご意見や要望があれば教えてください。（自由記述）（n=2）

- ・今後、研究分野が増える予定はありますか
- ・災害看護専門看護師をとれるようにしてほしい

※1期生（卒業生）において、本学大学院を「受験する」と回答した者のうち、本学に「入学したい」と回答した5名の内訳

・大学院の受験希望と入学意向について

	選択項目	入学したい	併願大学院の合否結果による
内訳	受験する	5	3
	計	5	3

・長期履修制度について

	選択項目	回答数	構成比
1	評価する	5	100%
2	評価しない	0	0%
	計	5	100%

・昼夜開講制度（5・6限の開講）及び夏季集中講義制度について

	選択項目	回答数	構成比
1	評価する	5	100%
2	評価しない	0	0%
	計	5	100%

・興味のある分野（領域）※複数回答

		選択項目	受験する（入学したい） (n=5)
1	基盤看護学	看護管理	5
		教育	4
2	実践看護学	母子	0
		広域	2
		急性・療養	3
3	高度実践看護学	がん看護専門看護師	1

・本学大学院に受験を希望する理由 ※複数回答

	選択項目	受験する（入学したい）(n=5)
1	実践力を高めたい	3
2	看護教育に携わりたい	1
3	看護研究者になりたい	0
4	専門看護師として働きたい	2
5	現場の指導者・管理的役割を担いたい	2
6	その他	0

〈資料 5-1〉 1 期生（卒業生）向けリーフレット

<p>修士課程の概要</p>	<p>設置時期：2023 年（令和 5 年）4 月（予定） 設置場所：愛知県一宮市常願通 5 丁目 4 番 1（一宮研伸大学キャンパス内） 入学定員：8 名 学位：修士（看護学） 修業年限：2 年 教育理念：学術の理論及び応用を教授研究し、深い学識及び卓越した能力を培い、看護における“<u>知のプロフェッショナル</u>”として看護界の発展に寄与する。 教育目的：広い視野に立ち精深な学識を受け、看護分野における教育・研究能力又はこれに加えて高度の専門性を有し、<u>地元創成を先導する</u>有為な人材を育成する。</p>					
<p>研究科の特色</p>	<p>地域社会の人々の健康な生活の創成を牽引できる人材、教育・研究能力を有する看護実践者を養成するために、科目編成に工夫をこらし、地域包括ケアシステムの一環として地元住民との連携強化を各研究領域の演習に組み込めるカリキュラム編成を行う予定です。 研究分野（2 分野 6 領域） ①基盤看護学〔看護管理学〕〔看護教育学〕 ②実践看護学〔母子健康生活支援看護学〕〔広域看護学（高齢者生活支援・地域精神保健）〕〔急性期回復・療養生活支援看護学〕〔高度実践看護学（がん看護専門看護師）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 働きながら学べる長期履修制度により、2 年間の授業料で 3 年間の在籍履修が可能です。 ➤ 夜間/土曜日（昼間）の授業や夏季集中講義等で、社会人が学びやすいカリキュラムを編成します。 					
<p>入学者像</p>	<p>教育理念・目的に基づき、入学時に以下の要件を満たすと判断できる対象者を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理的配慮を踏まえた看護実践の基礎を身につけている人 2. 保健医療福祉のチームの一員として、多職種と連携し協働することができる人 3. 看護者として社会貢献を志向し、主体的に生涯学習に取り組む意欲のある人 4. 保健医療に関する問題意識を有し、探究心旺盛な人 					
<p>選抜方法</p>	<p>時期：未定、設置認可確定後（2022 年秋ごろ）に本学ホームページで募集要項の案内を提示予定 方法：一般選抜、特別選抜（施設推薦） 試験科目：面接、小論文、専門領域試験（施設推薦の場合は免除）等</p>					
<p>の進路</p>	<p>取得可能な資格：認定看護管理者受験資格、がん看護専門看護師受験資格が得られます。 進路：高度看護専門職、教育担当者、リーダー、管理者、国家・地方公務員専門職、大学看護教員、研究者、博士課程への進学等で活躍が期待されます。</p>					
<p>学費（他大学との比較）</p>	<p>大学院専攻科名</p>	<p>場所</p>	<p>入学金</p>	<p>授業料</p>	<p>設備/施設費</p>	<p>初年度納入金</p>
<p>一宮研伸大学大学院看護学専攻看護学専攻（仮称）</p>	<p>一宮市</p>	<p>250,000</p>	<p>800,000</p>	<p>100,000</p>	<p>1,150,000 高度実践看護学専攻の場合は、上記の他に実習費が必要となります。 一宮研伸大学出身者は入学金免除の予定です。</p>	
<p>日本赤十字豊田看護大学大学院看護学専攻看護学専攻</p>	<p>豊田市</p>	<p>320,000</p>	<p>680,000</p>	<p>200,000</p>	<p>1,200,000</p>	
<p>日本福祉大学大学院看護学研究科看護学専攻</p>	<p>東海市</p>	<p>200,000</p>	<p>800,000</p>	<p>150,000</p>	<p>1,150,000</p>	

上記は設置構想中の内容であり、変更になる場合があります（大学院開設準備室）

〈資料 5-1〉 1 期生（卒業生）向け依頼文・調査票

一宮研伸大学看護学部
4 年生の皆様へ

一 宮 研 伸 大 学

大学院 看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）

入学意向に関するアンケート調査ご協力をお願い

一宮研伸大学は 2023 年（令和 5 年）4 月に、「大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の設置を予定しています。本学大学院では、看護職の資格を有しキャリアアップやチェンジに挑戦したい人を大学院生として広く受け入れ、教育・研究能力のある実践者の育成を目指しています。現在、具体的なカリキュラムを検討中で、将来入学をご検討いただく可能性のある皆様のニーズを的確に捉えることが重要と考えています。国試の勉強中で気忙しいなか大変恐縮ですが、皆様の本学大学院への入学意向に対する率直なご意見・意向をお聞かせください。

なお、皆様からいただいたご意見・意向は、入学意向に係る統計資料及び文部科学省への提出資料として活用させていただきますが、個人が特定されることや他の目的に利用することは一切ありません。

上記の趣旨をふまえ、アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。教職員一同、皆様の国試に向けてのご健闘を心よりお祈りいたします。

2021 年 2 月 3 日
一宮研伸大学 大学院開設準備室

質問数：7 問 （所要時間は 5 分程度です）

問 1 本学が構想中の大学院では、長期履修制度（※）を設ける予定です。あなたは大学院の受験対象者としてこの制度をどう思いますか（該当するもの 1 つに○）。

※長期履修制度とは、特別に必要なであると認められた場合には、前もって申請することで、通常の 2 年分の授業料で 3 年かけて修了できる制度です。

1. 評価する 2. 評価しない 3. 分からない

問2 本学が構想中の大学院では、働きながら学ぶ人のために昼夜開講制及び夏季集中講義を予定しています。あなたは大学院の受験対象者としてこの制度をどう思いますか。(6・7時限：18：00-21：30)

1. 評価する
2. 評価しない
3. 分からない

問3 あなたは本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）を受験したいと思いませんか。(該当するもの1つに○)

1. 受験する ⇒ 問4～問6にお答えください。
2. 働いてから考える
3. 受験しない ⇒ 問7へ進んでください。

問4 本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）では、研究分野がありません。現時点で、あなたが興味をもつ分野（領域）を教えてください。

(該当するものすべてに○)

1. 基盤看護学（看護管理、教育）
2. 実践看護学（母子、広域、急性・療養）
3. 高度実践看護学（がん看護専門看護師）

問5 あなたが本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）へ受験希望する理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 実践力を高めたい
2. 看護教育に携わりたい
3. 看護研究者になりたい
4. 専門看護師として働きたい
5. 現場の指導者・管理的役割を担いたい
6. その他()

問6 あなたが本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。(該当するものに○)

1. 入学したい
2. 併願大学院の合否結果による

問7 問3で、「受験しない」と回答された理由を教えてください。(該当するすべてに○)

1. 大学院への進学に興味がない
2. 進みたい研究分野・領域がない
3. 構想内容に魅力を感じない
4. 他大学院への進学を希望している
5. 新設の大学院に進学するのは不安である
6. 数年後に進学を検討したい
7. 詳細を把握したうえで進学を検討する
8. その他()

その他 本学大学院看護学研究科へのご意見や要望があれば教えてください。(自由記述)

<資料 5-2> 一宮研伸大学大学院 看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）
入学意向に関するアンケート調査結果（2～5期生）

調査期間	2021年9月				
対象	一宮研伸大学看護学部学生、2～5期生				
調査方法	8問からなる自記式アンケート調査（Web調査）				
配布数	358名				
回答数	273名				
回答人数	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
	77	63	68	65	273
回答率	76.3%				

*「構成比」（%）はいずれも、少数第二位を四捨五入。

問1. 長期履修制度について、どう思いますか。

		1年生	2年生	3年生	4年生	合計
1	評価する	63	54	46	52	215
2	評価しない	0	1	1	1	3
3	わからない	14	8	21	12	55
	合計	77	63	68	65	273

問2. 昼夜開講制度（5・6限の開講）及び夏季集中講義制度について、どう思いますか。

		1年生	2年生	3年生	4年生	合計
1	評価する	65	60	52	57	234
2	評価しない	0	0	2	0	2
3	わからない	12	3	14	8	37
	合計	77	63	68	65	273

問3. 本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）を受験したいと思いますか。

		1年生	2年生	3年生	4年生	合計
1	受験したい	5	3	1	2	11
2	働いてから考える	34	39	34	36	143
3	受験するつもりはない	38	21	33	27	119
	合計	77	63	68	65	273

問4. 現時点であなたが興味をもつ分野（領域）を教えてください（複数回答）。

※構成比は問3で「受験したい」と回答した11名。

		1年生 (n=5)	2年生 (n=3)	3年生 (n=1)	4年生 (n=2)	合計
1	地元創成マネジメント学	1	0	0	1	2
2	地元創成看護教育学	1	2	0	1	4
3	次世代育成看護学	1	2	0	1	4
4	急性・療養生活支援看護学	2	0	1	2	5
5	メンタルヘルス支援看護学	3	1	0	2	6
6	がん療養生活支援看護学	2	1	0	2	5
	合計	10	6	1	9	26

問5. あなたが本学大学院の受験を希望する理由について、教えてください（複数回答）。

※構成比は問3で「受験したい」と回答した11名。

		1年生 (n=5)	2年生 (n=3)	3年生 (n=1)	4年生 (n=2)	合計
1	実践力を高めたい	1	1	0	1	3
2	看護教育に携わりたい	1	1	1	1	4
3	看護研究者になりたい	0	0	0	1	1
4	専門看護師として働きたい	4	2	0	2	8
5	現場の指導者・管理的役割を担いたい	0	0	0	1	1
	合計	6	4	1	6	17

問6. 本学大学院を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。

※構成比は問3で「受験したい」と回答した11名。

		1年生 (n=5)	2年生 (n=3)	3年生 (n=1)	4年生 (n=2)	合計
1	入学したい	4	3	1	2	10
2	併願大学院の可否結果による	1	0	0	0	1
	合計	5	3	1	2	11

問7. 自宅のネットワーク環境について教えてください。

※構成比は問3で「受験したい」と回答した11名。

		1年生 (n=5)	2年生 (n=3)	3年生 (n=1)	4年生 (n=2)	合計
1	整っている	4	3	0	2	9
2	大学院入学時に整える	1	0	1	0	2
3	整っていない	0	0	0	0	0
	合計	5	3	1	2	11

問8. 問3で、「受験するつもりはない」と回答された理由を教えてください。

(複数回答) ※構成比は問3で「受験するつもりがない」と回答した119名。

		1年生 (n=38)	2年生 (n=21)	3年生 (n=33)	4年生 (n=27)	合計
1	大学院への進学に興味がない	20	15	19	14	68
2	進みたい研究分野・領域がない	9	5	8	12	34
3	構想内容に魅力を感じない	0	2	1	2	5
4	他大学院への進学を希望している	1	1	2	1	5
5	新設の大学院に進学するのは不安である	2	0	4	3	9
6	働いてから進学を検討したい	9	3	5	5	22
7	詳細を把握したうえで進学を検討する	4	1	5	1	11
8	その他	2	1	1	0	4
	合計	47	28	45	38	
	【その他】 ・そこまでお金をかけてまで進みたいと思ってないから ・場所が遠い ・看護師に慣れれば十分だから ・金銭的に厳しい					

【その他】 本学大学院看護学研究科へのご意見や要望があれば教えてください。

(自由記述) (n=20)

- ・なし。(6)
- ・助産師資格取得のためのコースも作って欲しい。(5)
- ・4年で卒業できる助産師枠と、大学院で取れる助産師枠、どちらも設立出来たら需要が高まると考える。
- ・大学院ができたなら助産コースも大学院に移行すると思っていたので、助産コースがないのが意外だった。
- ・母性や小児関係の認定看護師や専門看護師の資格取得ができると良い。
- ・小児専門看護師などの資格は取れるのでしょうか？
- ・保健師の資格もとれるようにしてほしい。
- ・他の領域も増えたら嬉しいです。
- ・大学院に行くことで研究を学び、その後の就職や給料面ではやはり有利になるのか。
- ・一度卒業してから大学院を希望する場合も入学金は免除されるのでしょうか。
- ・仮に大学院が軌道に乗った場合、修士だけでなく博士課程も設置するのですか？

※本学大学院を「すぐに受験したい」と回答した者のうち、本学に「入学したい」と回答した10名の内訳。

調査対象	358名 (対象の内訳)	一宮研伸大学看護学部 在学学生				
		2期生 (4年生)	3期生 (3年生)	4期生 (2年生)	5期生 (1年生)	
		99名	85名	80名	94名	
受験したい者の 入学意向	入学したい (10名)	2名 (3.1%)	1名 (1.5%)	3名 (4.8%)	4名 (5.2%)	
	併願希望あり (1名)	0名 (0%)	0名 (0%)	0名 (0%)	1名 (1.3%)	
入学意向のある10名の興味関心領域	地元創成ケア ①地元創成マネジメント学 (2)	1名	0名	0名	1名	
	②地元創成看護教育学 (4)	1名	0名	2名	1名	
	地元生活創成看護	③次世代育成看護学 (4)	1名	0名	2名	1名
		④急性・療養生活支援看護学 (5)	2名	1名	0名	2名
		⑤メンタルヘルス支援看護学 (6)	2名	0名	1名	3名
		⑥がん療養生活支援看護学 (5)	2名	0名	1名	2名

<資料 5-2> 2-5 期生向けリーフレット



GRADUATE SCHOOL OF ICHINOMIYA KENSHIN COLLEGE

開設時期 (予定) 2023 年 (令和 5 年) 4 月 入学定員 6 名 修業年限 2 年 学位 修士 (看護学)



教育理念

学術の理論及び応用を教授研究し、深い学識及び卓越した能力を培い、看護における **知と技のプロフェッショナル** として地域の看護界の発展に寄与する。

教育目的

広い視野に立ち精深な学識を授け、看護分野における教育・研究能力と高度の専門性を有し **地元創成を先導する** 有為な人材を育成する。

特色

地域社会の人々の健康な生活の創成を牽引できる人材、教育・研究能力を有する看護実践者を養成するために、**授業や演習に地元住民との連携強化を組み込んだカリキュラムを編成** しています。

研究分野	領域	KEY POINT 1
地元創成 ケアシステム学	地元創成マネジメント学 地元創成看護教育学	✓ 働きながら学べる長期履修制度により、 2 年間の授業料で 3 年間の在籍履修が可能
地元生活創成看護学	次世代育成看護学 急性・療養生活支援看護学 メンタルヘルス支援看護学 がん療養生活支援看護学 (※) ※がん看護専門看護師 (CNS) の教育課程が併設されています。	✓ 夜間・土曜日 (昼間) の開講や夏季集中講義など、社会人が学びやすいカリキュラム

教育理念・教育目的に基づき、以下の要件を満たしている人を広く受け入れます。

1. 倫理的配慮を踏まえた看護実践の基礎を身につけている人
2. 保健医療福祉のチームの一員として、多職種と連携し協働することができる人
3. 看護者として社会貢献を志向し、主体的に生涯学習に取り組む意欲のある人
4. 保健医療に関する問題意識を有し、探究心旺盛な人



選抜方法	時 期：2022 年秋ごろ (設置認可確定後) に、本学ホームページで募集要項の案内を提示予定	KEY POINT 2				
	方 法：一般選抜、特別選抜 (施設推薦)					
	試験科目：面接、小論文、専門領域試験 (施設推薦の場合は免除) 等	✓ 試験科目に注目				
修了後の進路	取得可能な資格：認定看護管理者受験資格、がん看護専門看護師受験資格 進 路：高度看護専門職、教育担当者、リーダー、管理者、国家・地方公務員専門職、大学看護教員、研究員、博士課程への進学等で活躍が期待されます。					
学費 (他大学との比較)	大学院専攻科名	場所	入学金	授業料	教育充実費/実験実習費	初年度納入金
	一宮研伸大学大学院 看護学研究所看護学専攻 (仮称)	一宮市	200,000	800,000	150,000	1,150,000
	日本赤十字豊田看護大学大学院 看護学研究所看護学専攻	豊田市	320,000	680,000	200,000	1,200,000
	日本福祉大学大学院 看護学研究所看護学専攻	東海市	200,000	800,000	150,000	1,150,000
※本学看護学研究所 (仮称) の学費は予定のものです。 ※他大学の学費は、各ホームページ掲載情報です (令和 3 年 7 月時点)。						

注：上記は設置構想中の内容であり、変更になる場合があります (大学院開設準備室)。

〈資料 5-2〉 2-5 期生向け依頼文・調査票

一宮研伸大学看護学部 在学生の皆様へ

一 宮 研 伸 大 学

大学院 看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）

入学意向に関するアンケート調査ご協力をお願い

一宮研伸大学は2023年（令和5年）4月に、「大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の設置を予定しています。本学大学院では、看護職の資格を有しキャリアアップやキャリアチェンジに挑戦したい人を広く受け入れ、教育・研究能力のある高度看護実践者の育成を目指しています。現在、カリキュラムを検討中ですが、大学在学中の皆様のニーズを的確に捉えることが重要と考えています。実習や国試対策など、何かと気忙しいなか恐縮ですが、皆様の本学大学院への入学意向に対する率直なご意見・意向をお聞かせください。

なお、皆様からいただいたご意見・意向は、入学意向に係る統計資料及び文部科学省への提出資料として活用させていただきますが、個人が特定されることや他の目的に利用することは一切ありません。

上記の趣旨をふまえ、アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2021年7月

一宮研伸大学 大学院開設準備室

質問数：8問（所要時間は5分程度です）

問1 本学が構想中の大学院では、長期履修制度（※）を設ける予定です。あなたは大学院の受験対象者としてこの制度をどう思いますか（該当するものを1つ選択してください）。

※長期履修制度とは、事前に申請して認められた場合には、通常の2年分の授業料で3年間在籍・履修できる制度です。

1. 評価する 2. 評価しない 3. 分からない

問2 本学が構想中の大学院では、働きながら学ぶ人のために昼夜開講制（6・7限の開講）及び夏季集中講義を予定しています。あなたは大学院の受験対象者としてこの制度をどう思いますか（該当するものを1つ選択してください）。

1. 評価する 2. 評価しない 3. 分からない

問3 あなたは本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）を受験したいと思いますか（該当するものを1つ選択してください）。

1. 受験したい ⇒ 問4～問7にお答えください。
2. 働いてから考える
3. 受験するつもりはない ⇒ 問8へ進んでください。

問4 本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）では、6つの研究分野があります。現時点で、あなたが興味をもつ分野（領域）を教えてください（該当するものをすべて選択してください）。

1. 地元創成マネジメント学
2. 地元創成看護教育学
3. 次世代育成看護学
4. 急性・療養生活支援看護学
5. メンタルヘルス支援看護学
6. がん療養生活支援看護学

問5 あなたが本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）へ受験希望する理由を教えてください（該当するものをすべて選択してください）。

1. 実践力を高めたい
2. 看護教育に携わりたい
3. 看護研究者になりたい
4. 専門看護師として働きたい
5. 現場の指導者・管理的役割を担いたい
6. その他（
）

問6 あなたが本学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか（該当するものを1つ選択してください）。

1. 入学したい
2. 併願大学院の可否結果による

問7 本学が構想中の大学院では、対面の授業だけでなく、オンライン授業を実施する予定です。現在自宅にオンライン授業を受講できるネットワーク環境が整っているかを教えてください（該当するものを1つ選択してください）。

1. 整っている
2. 大学院入学時に整える
3. 整っていない

問8 問3で、「受験するつもりはない」と回答された理由を教えてください（該当するものをすべて選択してください）。

1. 大学院への進学に興味がない
2. 進みたい研究分野・領域がない
3. 構想内容に魅力を感じない
4. 他大学院への進学を希望している
5. 新設の大学院に進学するのは不安である
6. 働いてから進学を検討したい
7. 詳細を把握したうえで進学を検討する
8. その他（
）

その他 本学大学院看護学研究科へのご意見や要望があれば教えてください。（自由記述）

<資料 6> 1 期生の進路状況内訳

地域	就職先（看護師）	人数
愛知県内 (62名)	社会医療法人 大雄会	14
	社会医療法人宏潤会 大同病院	8
	春日井市民病院	3
	JA 愛知厚生連 江南厚生病院	3
	一宮市立市民病院	2
	日本赤十字社 名古屋第一赤十字病院	2
	独立行政法人 国立病院機構 東名古屋病院	2
	交易社団法人 日本海員掖済会 名古屋掖済会病院	2
	JA 愛知厚生連 海南病院	2
	稲沢市民病院	2
	一宮西病院	2
	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	2
	藤田医科大学 岡崎医療センター	2
	愛知県がんセンター病院	1
	日本赤十字社 名古屋第二赤十字病院	1
	名古屋大学医学部附属病院	1
	名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター	1
	名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター	1
	名古屋市立緑市民病院	1
	北医療生活協同組合 北病院	1
	国家公務員共済組合連合会 名城病院	1
	独立行政法人労働者健康安全機構 中部ろうさい病院	1
	小牧市民病院	1
	公立陶生病院	1
	JA 愛知厚生連 豊田厚生病院	1
	あいち小児保健医療総合センター	1
半田市立半田病院	1	
社会医療法人財団新和会 八千代病院	1	
医療法人医仁会 さくら総合病院	1	
岐阜県 (6名)	大垣市民病院	3
	独立行政法人 国立病院機構 長良医療センター	1
	岐阜大学医学部附属病院	1
	市立恵那病院	1
三重県 (2名)	桑名市総合医療センター	1
	三重県立志摩病院	1
その他 (2名)	国家公務員共済組合連合会 東京共済病院	1
	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	1
計		72

地域	就職先（助産師）	人数
愛知県内 (4名)	一宮市立市民病院	2
	社会医療法人宏潤会 大同病院	1
	藤田医科大学 ばんだね病院	1
計		4

愛知県内	就職（看護師・助産師以外）	3
------	---------------	---

愛知県内	進 学	1
------	-----	---

合 計	80
-----	----

<資料7> 愛知県内における看護専門学校開設数の一覧

		学校名	住所
1	医療法人	社会医療法人愛成会 愛生会看護専門学校	名古屋市北区
2		社会医療法人明陽会 東三河看護専門学校	豊橋市
3		医療法人珪山会 中部看護専門学校	名古屋市中村区
4		医療法人生生会 まつかげ看護専門学校	名古屋市中川区
5		一般社団法人日本海員掖済会 えきさい看護専門学校	名古屋市中川区
6		公益財団法人豊田地域医療センター 豊田地域看護専門学校	豊田市
7		学校法人穂の香学園 穂の香看護専門学校	新城市
8		独立行政法人労働者健康安全機構中部労災看護専門学校	名古屋市港区
9	農協	愛知厚生農業協同組合連合会 愛北看護専門学校	江南市
10		愛知厚生農業協同組合連合会 加茂看護専門学校	豊田市
11		愛知厚生農業協同組合連合会 更生看護専門学校	安城市
12	医師会	安城医師会 安城碧海看護専門学校	安城市
13		尾北医師会 尾北看護専門学校	丹羽郡大口町
14	県立	愛知県立総合看護専門学校	名古屋市昭和区
15	市立公立	岡崎市立看護専門学校	岡崎市
16		蒲郡市立ソフィア看護専門学校	蒲郡市
17		津島市立看護専門学校	津島市
18		豊橋市立看護専門学校	豊橋市
19		名古屋市立中央看護専門学校	名古屋市東区
20		西尾市立看護専門学校	西尾市
21		公立春日井小牧看護専門学校	春日井市
22		公立瀬戸旭看護専門学校	瀬戸市
23		公立西知多看護専門学校	知多市
24	その他	半田常滑看護専門学校	半田市
25		名鉄看護専門学校	名古屋市西区
26		トヨタ看護専門学校	豊田市
27		愛知保健看護大学校/保健学科	長久手市
28		名古屋医専	名古屋市中村区
29		東海医療科学専門学校/看護科	名古屋市中村区
30		名古屋平成看護医療専門学校/看護学科	名古屋市千種区

- ・30 校中 11 校は名古屋市内
- ・30 校中 4 校は東三河地方(豊橋・蒲郡・新城)、7 校は西三河地方(豊田・岡崎・安城・西尾)
- ・30 校中 5 校は尾張東部地方(春日井、北名古屋市、大口町他)
- ・30 校中 3 校は、尾張海部地方、知多地方

<資料 8> 一宮市長からの要望書

令和4年1月19日

文部科学大臣

末松信介様

一宮市長 中野正康



平素は、一宮市の教育行政の推進につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市に平成29年4月に開設されました学校法人研伸学園一宮研伸大学が、大学院看護学研究科（修士課程）の設置認可申請をさせていただきます。

この大学院の設置が認可されますと、本市においては、初の大学院となり、高度な医療を担う看護師の養成が期待されることに加えて、地域での看護職や介護職の指導及び保健行政への助言などの協力が得られるものと確信し、その設立を強く期待しております。

本市は、令和3年4月に愛知県の尾張地域では初の中核市となり、県から保健衛生、福祉等の権限移譲を受け、より質の高い医療・福祉を目指しております。そのためには、高度な知識を有する大学院との協力関係の構築が不可欠です。

何卒、一宮研伸大学大学院の設置認可に向け、特段のご高配を賜りますようお願いいたします。

一医発第292号

令和4年2月10日

文部科学大臣 末松 信介 様

一般社団法人一宮市医師会

会長 櫻井 義也



大学院設置に関する要望書

平素は、医学ならびに看護等の教育に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当会は地域医療活動と各種保健事業を通じて、住民の健康保持増進ならびに公衆衛生の向上に日々努めております。

こうした活動は、医師のみならず看護師等の医療従事者との協働が不可欠であります。一方、当地域は慢性的な看護師不足に加え、近年の在宅医療推進による訪問看護や介護現場での看護ニーズの高まりを背景に、看護職の安定確保が喫緊の課題となっております。

そうした中、一宮研伸大学は平成29年4月の開学以来、看護師養成にまい進され、地域の看護職の安定的な確保に貢献されています。

一方、医学医療は日進月歩で変化し、地域でもより質の高い医療提供が求められております。その実現のためには、新しい知見に基づいた高度な知識と技術を有する人材の確保が必要不可欠であることは言うまでもありません。

今般の一宮研伸大学大学院看護学研究科の開設計画は、医療の進歩に即応する看護学教育の地域拠点として看護職の資質向上に寄与し、ひいては住民のさらなる健康保持増進につながる好機であると、その実現を強く望むものであります。

つきましては、一宮市研伸大学大学院看護学研究科の設置実現のため、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

<資料 10> 一宮研伸大学大学院 「看護学研究科 修士課程（仮称）」採用等意向に関するアンケート調査結果（看護管理者向け）

調査期間	2021年10月～2021年12月
対象	愛知県尾張東部地方にある医療機関の看護部長及び施設の管理者
調査方法	5問からなる自記式アンケート調査（郵送回収）
回答数	29施設

※「構成比」（％）はいずれも、少数第二位を四捨五入。

問1. 機関・施設の種類について。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	病院・診療所	14	48.3%
2	介護福祉関連施設	0	0%
3	訪問看護ステーション	2	6.9%
4	地方自治体	2	6.9%
5	大学看護学部（学科）	6	20.7%
6	看護専門学校	5	17.2%
	計	29	100.0%

問2. 機関・施設における大学院修士課程修了の看護職者・看護教員の有無について。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	大学院修士課程修了の看護職者・看護教員が勤務している	19	65.5%
2	大学院修士課程修了の看護職者・看護教員は勤務していない	10	34.5%
3	不明	0	0%
	計	29	100.0%

【施設における大学院修士課程修了者数）の内訳 n=19】

1～2名＝6施設（31.6%） ・ 3～5名＝4施設（21.1%） ・ 6～9名＝1施設（5.3%）
 30名以上＝5施設（26.3%） ・ 全員＝1施設（5.3%） ・ 不明＝3施設（15.6%）

問 3. 機関・施設において、一宮研伸大学大学院修了生を採用したいと考えるか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	採用したい	7	24.1%
2	採用を前向きに検討したい	8	27.7%
3	どちらともいえない	12	41.4%
4	採用の予定はない	1	3.4%
5	無回答	1	3.4%
	計	29	100.0%

【施設で採用が可能と思われる人数の内訳 n=15】

1～2名=8施設(53.3%) ・ 3～5名=3施設(20.0%) ・ 10名以上=1施設(6.7%)
 制限なし=1施設(6.7%) ・ その他(未定・若干)=2施設(13.3%)

問 4. 機関・施設で勤務している看護職者・看護教員を一宮研伸大学大学院で学習させるための進学支援について。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	施設・機関の福利厚生制度(就学助成や休職等)を利用させ進学・入学を支援したい。	4	13.8%
2	現職のまま社会人として進学・入学を推奨したい。	12	41.4%
3	進学・入学を推奨する予定はない。	3	10.3%
4	状況に応じて検討したい。	10	34.5%
	計	29	100%

問 5. 一宮研伸大学大学院に対して、期待する点や要望について。(自由記述)

(n=10)

- ・ 住み慣れた地域で住み続けられる町を目指して、当院でご協力できることがあれば、是非お声かけください。
- ・ 現場の看護師の実践レベルを向上させることのできるリーダー教育者の育成に期待します
- ・ 大学と看護専門学校と共同で研究したい。
- ・ 看護教員に研究指導をしてほしい。
- ・ 添付がないため何も書けません。
- ・ 学生負担が少なければよい。(2)
- ・ 制度を積極的に紹介してほしい。
- ・ 就労に影響がないようなカリキュラムであればよい。(2)
- ・ 科目履修等の受講を病院スタッフが受講できると良い。
- ・ 働きながら学べる制度はありがたい。
- ・ リエゾン精神看護、老人看護の専門看護師コースができるとうありがたい。
- ・ 看護管理者の修士課程への進学を支援していきたい。

※一宮研伸大学大学院の修了生を「採用したい・採用を前向きに検討したい」と回答した 15 施設
 において、本学の修了生を採用可能と思われる人数の内訳

	採用可能人数							
	1-2 名	3-5 名	10 名 以上	制限 なし	若干名	どちら ともい えない	予定な し	無回答
病院・診療所 (14)	4	3	1	0	1	5	0	0
大学 (6)	0	0	0	0	1	4	1	0
看護専門学校 (5)	3	0	0	1	0	0	0	1
訪問看護 ステーション(2)	1	0	0	0	0	1	0	0
地方自治体 (2)	0	0	0	0	0	2	0	0
合計(29)	8	3	1	1	2	12	1	1

〈資料 10〉 看護管理者向け依頼文

2021 年 10 月吉日

関係各位

一宮研伸大学
学長 大久保清子
(公印省略)

一宮研伸大学大学院「看護学研究科 修士課程（仮称）」 採用等意向に関するアンケート調査ご協力をお願い

謹啓

仲秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本学の教育研究活動に多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

一宮研伸大学では、さらなる高度な専門職業人の育成を目指して 2023 年 4 月に大学院「看護学研究科 修士課程（仮称）」の開設を構想中です。現在、具体的なカリキュラムの検討を行っていますが、将来的に修了生の採用をご検討いただく医療・福祉・行政機関や看護系大学の皆様のご意見ご意向をお聞かせいただき、より充実した大学院教育の構想に反映させていきたいと考えています。

アンケートは選択肢形式（5 問）により 5 分以内で回答可能です。無記名方式で個人の特定につながる情報は一切ありません。なおアンケート結果は、文部科学省への提出資料として活用させていただきます。ご協力いただける場合は、同封の返送用封筒で 11 月末日までに、ご返送いただければ幸いです。

コロナ禍で、何かと気忙しいなか恐縮ですが、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々のご活躍とご健康を心よりお祈りいたします。

謹白

アンケートに関してご不明な点や大学院の構想につき質問等がございましたら
下記窓口までご連絡をいただければ幸いです。

一宮研伸大学大学院開設準備室

総務：村上翔子

担当：下平唯子

電話：0586-28-8110（代） FAX：0586-25-2800

〒491-0063 愛知県一宮市常願通 5 丁目 4 番 1

〈資料 10〉 看護管理者向け調査票

一宮研伸大学大学院看護学研究科（仮称）

採用等意向についてのアンケート調査ご協力をお願い

（対象者：看護部長及び機関・施設の管理責任者の方）

一宮研伸大学（愛知県一宮市常願通 5丁目4番1号）は、2023年（令和5年）4月の【大学院看護学研究科 修士課程（仮称）】設置に向けて構想中です。

本学では、このアンケート調査を通して率直なご意見をお聞かせいただきたいと考えています。添附の大学院リーフレットをご覧ください、アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2021年10月

一宮研伸大学 大学院開設準備室

質問数：5問（所要時間は5分程度です）

問Ⅰ 貴機関・貴施設の種別を教えてください（該当する番号に○をしてください）。

- | | | |
|-----------|---------------|---------------|
| 1. 病院・診療所 | 2. 介護福祉関連施設 | 3. 訪問看護ステーション |
| 4. 地方自治体 | 5. 大学看護学部（学科） | 6. 看護専門学校 |

問Ⅱ 貴機関・貴施設における大学院修士課程修了の看護職者・看護教員の有無について教えてください（該当する番号に○をしてください）。

1. 大学院修士課程修了の看護職者・看護教員が勤務している（ 名が勤務中）
2. 大学院修士課程修了の看護職者・看護教員は勤務していない。
3. 不明である。

問Ⅲ 貴機関・貴施設において、今後、一宮研伸大学大学院【看護学研究科修士課程（設置構想中）（仮称）】で学び、養成された修了生を採用したいとお考えですか（該当する番号に○をしてください）。

1. 採用したい
2. 採用を前向きに検討したい
3. どちらともいえない
4. 採用の予定はない
- 1・2の場合、採用が可能と思われる人数についてご記入ください。
- 名

問Ⅳ 本大学院では、社会人のために長期履修制度、夜間・土曜日開講や夏季集中講義などを用意しています。貴機関・貴施設で勤務されている看護職者・看護教員を一宮研伸大学の大学院【看護学研究科 修士課程（設置構想中）（仮称）】で学修させるための進学支援のご意向について教えてください（該当する番号に○をしてください）。

1. 施設・機関の福利厚生制度（就学助成や休職等）を利用させ進学・入学を支援したい。
2. 現職のまま社会人として進学・入学を推奨したい。
3. 進学・入学を推奨する予定はない
4. 状況に応じて検討したい

問Ⅴ 一宮研伸大学大学院の【看護学研究科 修士課程（設置構想中）（仮称）】に対して、期待される点やご要望がありましたらご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。